



人の動き	人口	31,299 (+95)
	男	15,146 (+48)
	女	16,153 (+47)
	世帯	10,686 (+42)
	(平成18年8月1日現在)	

ささゆり公園リニューアルオープン

ワークショップ

第1回(平成16年) テーマ「公園に期待するもの」旗揚げアンケート・大昌公園の紹介・ワークショップの説明・公園でしたいこと

第2回(平成16年10月17日) テーマ「こんな公園にしたい」公園見学会・公園の目標を決める

第3回(平成16年11月13日) テーマ「デザインを考えよう」4グループで公園の模型づくりやプランづくり

第4回(平成16年12月18日) テーマ「リニューアル計画を完成させよう」公園の特徴をチェック・公園計画内容の説明と意見交換・遊具などの選定

毎回30名程度の参加があり、テーマに基づき活発な意見交換がされました。

公園の概要

■位置 猪名川町広根字大谷上2・57

■面積 1037㎡

■施設内容 タイヤブランコ・スプリング遊具2基・あずまや1基・スベリ台・がけ登り・階段ベンチ



みんなで取り組んだ
親しめる公園

本町では、緑の基本計画を平成14年3月に策定しました。基本理念は、猪名川の河川を軸とした自然の豊かさ、歴史・文化など貴重な財産を守り育て、次世代に伝えることです。その一つの取り組みとして、老朽化した公園整備をワークショップ方式により進めています。

広根ニューハイツ自治会の「大昌公園」をリニューアルし、みんなで命名した「ささゆり公園」が7月30日、オープンしました。この公園は、松尾台公園や伏見台南公園に続き、町内3カ所目となる地域住民によるワークショップで意見を出し合い完成した公園です。みんなの公園に対する思いをアンケート調査し、4回にわたるワークショップや視察など、公園をテーマに地域が一体となりました。

平成16年9月から始まったワークショップでの思いが、ぎゅっと詰まった公園は、今後地域コミュニティの核として、ふれあいやすさの場になることでしょう。

問い合わせは、都市整備課(766・8704)へ。

公園づくりワークショップ

ワークショップとは?

ワークショップとは、イベントなどと違い、何かをテーマにアイデアを出し合い、意志決定する集まりです。

参加者は、子どもから大人までのだれもが平等の立場で意見を出し合い、グループで作業をしたり、楽しみながら計画をつくりあげていきます。

ワークショップでの公園づくりは、日頃、遊んだり散歩していた公園を、地域の皆さん同士で、いろいろな考えを話し合い、互いにどのような公園をつくり、どのように利用すればよいのか、そんな答えを見つけようとするものです。

平成19年度採用の町職員を募集

「人と自然がやさしくとけあい、未来に輝くふるさと猪名川」のまちづくりにあなたも挑戦してみませんか。

高・短大卒

平成19年4月採用の町職員(高卒・短大卒程度)を次のとおり募集します。募集要項・申込書などは、総務課、日生・六瀬住民センターで8月15日から配布しています。

受付期限 8月25日午後5時30分までに必要事項を記入のうえ、総務課へ提出してください。

郵送による申込みは、受付期限までに必着のこと。持参は土・日を除く。

本年7月に事務職(大卒)の採用試験を実施していますので、4年制大学を卒業した人、または4年制大学に在学中の人は、受験できません。

一次試験 9月17日(日)生涯学習センターで実施。

町ホームページでも募集要項をダウンロードできますが、申込みはできません(感熱紙使用不可)。

問い合わせは、総務課(766-8708)へ。

職種	採用予定者人数	受験資格
事務職	1人	高校卒 昭和60年4月2日以降に出生した人で、学校教育法に定める高等学校を卒業した人、または平成19年3月31日までに卒業見込みの人
		短大卒程度 昭和58年4月2日以降に出生した人で、学校教育法に定める短期大学、高等専門学校を卒業した人、または平成19年3月31日までに卒業見込みの人

地方公務員法第16条の欠格条項に該当する人は、応募できません。

採用時には通勤可能な地域に住居を定めてください。

受験者が平成19年3月31日までにその属する学校を卒業できない場合は、採用できません。

松尾台公園(平成15年12月リニューアルオープン)



松尾台公園は、昭和50年の日生ニュータウンの開発にともない建設された公園でした。施設の老朽化が著しいため、本町で初めての試みとして、ワークショップによる公園づくりとなりました。9回のワークショップと2回の意見交換会で公園利用のルールづくりや花だんづくりなども提案されました。

現在、パンジーの会が春と秋にマリーゴールドやサルビアなどで花の公園づくりに取り組まれ、地域に親しまれる公園に生まれ変わっています。

伏見台南公園(平成15年12月リニューアルオープン)



伏見台南公園は、松尾台公園と同様に開発時に建設された公園で、6回のワークショップを開催し「みんなの公園だからみんなで決めよう」と取り組みました。

開園式には、子どもから大人まで参加者全員でテープカットや記念植樹などが行われました。

現在、クリスマスローズの会がベゴニアやポーチュラカなどを植え、公園管理に努められています。

親近感のある公園として、地域住民に愛されています。